

OUR MUSIC

わたしたちの
音楽

www.piano.or.jp

289

Autumn
2010

表紙の人

ロバート・レヴィン先生
Robert Levin

[特集3]

ピティナ・ピアノ
フェスティバルVol.63

土田英介先生
講義レポート
ハイドンとモーツァルト

[特集1]

発表会
企画・運営術

伊井光子先生、川又直美先生、田代雅恵美先生、望月恵子先生

[特別レポート]

特級グランプリ
梅村知世さん
インタビュー ほか

[特集2]

ピティナ・
ピアノ指導セミナーVol.42
手遅れにさせない
日々の訓練とは

根津栄子先生



発表会企画・運営術…事例研究③

発表会準備の スケジュール管理

綿密な発表会準備スケジュールのもと、詳細な当日進行表の作成など発表会に向けて周到な準備をされている田代先生。広報・集客面でも工夫が光ります。教室の生徒さん・保護者の方にもお集まりいただき、発表会への思いを語っていただきました。



田代稚恵美先生

武蔵野音楽大学短期大学部音楽学部ピアノ科卒。
当協会正会員。
<http://idisk.mac.com/ctpstudio/Public/Piano/index.html>

人前で「発表する」力をつける

田代 私の教室の発表会では、演奏だけでなく、はじめのことは、おわりのことは・アナウンス等も子どもたちにさせることにしています。はじめのことは、おわりのことはに関して、まず家族ぐるみで原稿を書いていただいて、私が内容をチェックした後練習にとりかかります。本番は原稿を見ながらだと棒読みになつてしまいますから、文章はすべて暗記です。

生徒 私はおわりのことを担当し



取材にご協力頂いた皆様：
田代稚恵美先生、佐藤菜奈子・梨里伊さん
姉妹とお母様、佐藤輝季さんとお母様



れども、一番緊張する「はじめのことは」が最初に終わつて、その後演奏だったので、楽しく演奏できたようです。人前に出て一人で話す緊張とピアノを弾く緊張の違いが幼いながらに何となく分かったみたいです。

田代 演奏に加えてもう一ステージあるようなものですから、本人たちは大変だと思いますが、ピアノだけではない「発表の力」をつけてもらいたいと思つてやらせています。子どもたちにこのような役割を任せることで緊張の中から大きな自信が生まれていくのを実感していますし、発表の場というのはピアノだけに

どまらず子ども達の人生に奥行きを与えていると思います。

実は私も、指導者として発表会の最後に舞台で必ずご挨拶をして自分の信念をお伝えするようにしています。発表会のステージは日ごろお会いできないご家族・親戚の方々が熱心に耳を傾けてくださる場です。私がお挨拶することで、現在の教室の状況・指導者の考え・生徒たちの様子をご家族の方が把握できますし、お母様方が教室や私をサポートしようというお気持ちを持ってくださるようになりました。

発表会で活躍するアイテムたち

田代 できるだけたくさんのお客様にいらしていただくために、生徒には「おみやげ引換券」というのを渡し、お友達や親戚をお誘いするときにプログラムと一緒に渡してもらうようにしています。子どものお客様限定ですが、おみやげ引換券を当日受付にお持ちくださった方には心ばかりのプレゼントを差し上げています。

保護者 このおみやげ引換券がある

と、誘いやすいですよ。会場から遠い方やお車をもっていない方にも「ちょっとプレゼントがあるから来てみる？」という感じで声がかけられますので。

田代 ある年は120個用意したプレゼントがほとんど無くなりました。この引換券のおかげなのか、毎回出演者以外の子どもたちが100名くらいは来てくれているようです。

あとは、発表会のポスターも作成しています。掲示場所は主に自治会の17ある掲示板と、発表会会場のホールです。自治会の掲示板は認印をもらう必要はありますが、これを見て結構来てくださっているようです。柏市のホールで開催することが多いのですが、「かしわタウン情報」というホームページや、新聞の地域情報欄にも掲載してもらっています。いずれも掲載料は無料ですし、新聞に関してはうちのエリアだけでなくも発行部数が一万数千部にも上りますから、載せない手はないです。毎年同じ時期に同じことをするというのは力になりますね。「そろそろだな」と皆さん思ってください

ますから。

保護者 発表会が終わった2日後には、必ずポストに先生からのおはがきが届いています。

田代 発表会が終わったその日の夜に、出演者とお世話になった方たち全員にお礼のはがきを書いているんです。何十枚にもなるので朝までかかりますが、どうせその日は興奮していて寝られないので(笑)

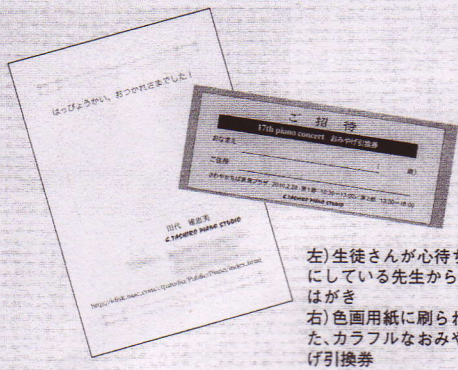
保護者 いつもはがきいっぱいにお褒めの言葉を書いてくださっています。練習の時厳しくても、発表会が終わっていたただくそのお言葉が宝物で、うちでは飾ってありますよ。

生徒 毎年色々内容が変わっても、「舞台で一番いい力が出て輝いていたね」という内容はいつも書いてくださっています。それはやはりうれしいです。

田代 このはがきには絶対に悪い言葉は書かないようにしています。たとえ本番で失敗してしまったとしても頑張った上での結果ですし、生徒たち皆のそれまでの努力を見てきていますので。

指導者・生徒・保護者それぞれにとつての発表会

田代 発表会の準備は、大まかに表のようなスケジュールで進めています。ざっと挙げただけでもこれだけ準備することがありますから、山あり谷ありでそれはそれは大変です。



足台の設置や譜面台の抜き差し、写真撮影時の整列係などはお母様方や知り合いの先生などお手伝いの方に頼んでいますので、進捗が遅れないようにするために十分な説明や詳しい進行資料も必要になってきます。このように大変な作業が必要になる

田代先生の発表会準備スケジュール

- | | |
|--|---|
| <p>8月 選曲、選曲まとめ、会場確保</p> <p>9月 中高生、大人の生徒に曲を渡す
特別出演者に依頼の手紙
写真屋さんに撮影依頼
発表会申し込み教室便り(10月号)作成・印刷</p> <p>10月 画材店でプログラム表紙を購入
プログラム・ポスター作成用文具購入
教室便り配布、発表会申し込み開始
発表会はじめのことは、おわりのことは依頼の手紙を書く
発表会記念品選び、注文</p> <p>11月 プログラム表紙試し刷り
プログラム打ち込み
教室便り年末号作成・印刷
発表会申し込み締め切り</p> <p>12月 プログラム表紙・プログラム・ポスター原稿作成、校正
ホールからのポスターチェック
プログラム(8面×320部)印刷・製本
ポスター印刷
アナウンス用プログラム作成
生徒にプログラムを渡してアナウンスを依頼
はじめのことは、おわりのことは、アナウンス練習開始
発表会プログラム発送用封筒・カバーレター印刷</p> <p>1月 プログラムを関係者に発送
発表会后ハガキ印刷
おみやげ引換券印刷(150枚)
かしわタウン情報に広告依頼
読売新聞ふれあいインフォメーションに広告依頼
プログラムに添える手紙(生徒用)印刷
プログラム・おみやげ引換券を生徒に配布</p> | <p>1月 ご招待チラシ(100枚)印刷
花屋さんに花束依頼
当日進行表作成
ホームページ更新
発表会係の仕事・発表会の諸注意作成・印刷
進行表調整・印刷
発表会来客用おみやげ発注
発表会打ち上げ会場予約
自治会からポスター掲示認印をもらう
ポスター作成(17枚)
生徒の作文を台紙に貼る(発表会場ロビー展示用)
発表会係の振り分け、人選
発表会外部スタッフの進行表送付</p> <p>2月 発表会場場との打ち合わせ
当日の貼り紙印刷
教室便り(2月号)作成・印刷
写真申込書作成・印刷
発表会リハーサル
花屋さんに花束注文 FAX
アンサンブルリハーサル
お弁当注文(スタッフ用)
招待チラシ配布
ポスター貼り(発表会2週間前)
写真屋さん、花屋さん、打ち上げ会場等に確認電話</p> <p>当日 発表会(2月下旬)
終了後スタッフと打ち上げ
夜、生徒たち一人ひとりに感想と感動のハガキを書く</p> <p>翌日 生徒達にハガキを投函
HP更新</p> |
|--|---|

発表会ですが、発表会を開催することによって子どもたちが確実に力をつけているのがわかりますから、一年に一度開かずにはいられないんですよ。

生徒 発表会は刺激をもらえる場所です。門下の他の友達や自分よりも小さい子で上手な子がいると、うれしく思うと同時に「自分も頑張らないと」という気持ちになります。

保護者 うちの子どもは、発表会は一年で自分がどれだけうまくなったか分かる場所だと言っています。難しい曲をいただきますし、一年間一生懸命やって

進行表 No.4	C.TASHIRO PIANO STUDIO 飛屋アワー 第2発表会	会場 本館
オープニング1	アンサンブル	アンナンス係、ステージに出て、2人乗ってお辞儀 拍手 進行表係
オープニング2	アンサンブル	演奏が終わったら、2人乗ってお辞儀 拍手 進行表係 観客が拍手したら、2人乗ってお辞儀、下手に上げる 演奏が終わったら、2人乗ってお辞儀、下手に上げる ステージ発表開始に備えます。
		バックアップ 飛屋アワーから出て行く(中出し) 進行表係が下へ出て行く(進行表) フロント・受付も手配が完了(中出し) 演奏が完了したら、演奏、ステージ整理

録音・備品関連等役割ごとに色分けされた進行表

きたことを発表できるので自信がつくようです。コンクールなどですと、親は足台などのセッティングで舞台袖で演奏を聞くことになるのできちんと子どもの音を聞くことができないのですが、発表会は客席で子どもの音色をゆつくり聞ける一年で唯一の場ですから、親の私も幸せを感じられるひとときなんです。

田代 発表会までの道のりで、生徒と保護者の方とは戦友や同志のようになりますね。それくらい強い絆ができますし、先生・生徒・保護者で大きな一つの物語を作っていくような、そんな感覚があります。大勢の方の中で生徒が育っていつていことを本当にうれしく思います。

田代先生発表会のポイント

- ①演奏以外の発表の場を設ける
- ②広報・集客グッズの活用
- ③綿密な準備スケジュール